

# 「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【長野県の概要】

### 1 水稲

(1) 長野県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は3万1,800haで、前年産に比べ200ha減少した。

また、主食用作付面積は3万700haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂あたりもみ数が多いとなったことから「平年並み」となり、登熟は、8月中旬以降も高温の状態が続き、暑さの影響により「やや不良」となった。

(3) この結果、長野県の10a当たり収量は606kgで、前年産に比べ14kg減少した。

また、作柄表示地帯別では、東信で612kg（前年産に比べ14kg減少）、南信で617kg（同19kg減少）、中信で617kg（同14kg減少）、北信で566kg（同4kg減少）となった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された長野県の作況指数は99となり、作柄表示地帯別では、南信、中信及び北信で99、東信で97となった。

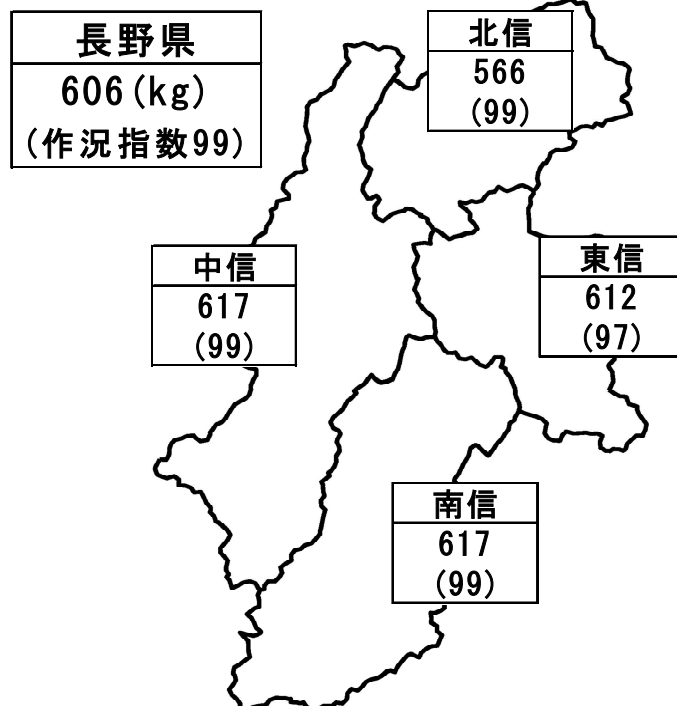
(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は19万2,700tで、前年産に比べ5,700t減少した。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は18万6,000tで、前年産に比べ5,600t減少した。

### 2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

図 水稲の作柄表示地帯別  
10a当たり収量及び作況指数

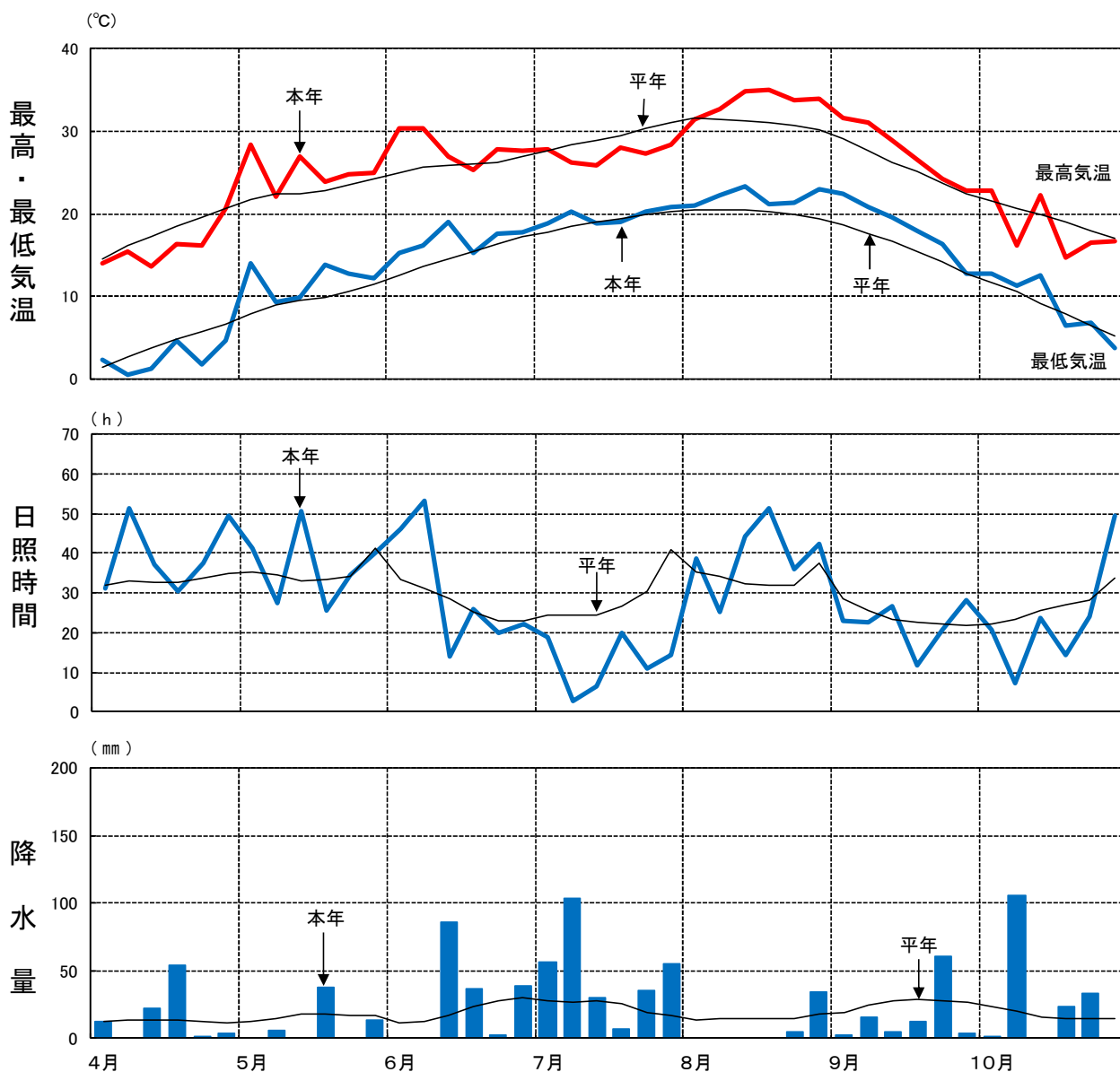


○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和2年 半旬別気象（松本）



資料：気象庁

水稻の耕種期日  $\longleftrightarrow$  田植期  $\longleftrightarrow$  出穂期  $\longleftrightarrow$  刈取期  $\longleftrightarrow$   
 5/22(±0)  $\longleftrightarrow$  8/9(+3)  $\longleftrightarrow$  9/29(Δ2)

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、( )内は、平年との遅速(日数)を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 長野県拠点 統計チーム  
 電話：026-234-5577  
 F A X：026-235-1397